

サステナブルツーリズムによる 阪神南地域の魅力発見プロジェクト

事業実施計画

兵庫県土木部 道路街路課 河川整備課
阪神南県民センター 西宮土木事務所

1. ツーリズム推進の全体像

1. ツーリズム推進の全体像

3

目的

阪神南地域の活性化・地域価値の向上・地域への愛着醸成

課題

- 地域内外の人々に地域の魅力が認識されていない
- 観光消費単価が低い
- 観光客数の伸びが弱い

取組方針

- 環境への負荷低減や地域住民への影響に配慮し、サステナブルツーリズムの理念に基づいて取り組む
- 持続可能な取組とするため、地域の多様な主体と連携して取り組む

手段

- 地域内外の人々が地域の魅力を発掘・再認識する機会を創出
- ツーリズムの基盤となる土木インフラを活用（併せて必要な整備を推進）

目標

- ①観光消費単価向上
- ②観光客数の伸び率向上
- ③地域資源の認知度向上
- ④年間利用者数5万人以下観光施設の利用者拡大
- ⑤阪神南地域の観光消費額拡大

2. ツーリズムの視点から 見た阪神南地域の課題

2. 阪神南地域 ツーリズムの課題

●地域内外に地域の魅力が認識されていない

『灘の生一本』などの日本遺産、多彩な公園、阪神間モダニズムなど歴史・伝統的な資源（人、モノ、文化、自然、景観など）が多彩にあるが、認知度が低いため、ポテンシャルを発揮できていない資源が多くある。



寺町界隈（てらまちプロジェクトHPより）



西宮市貝類館（HPより）



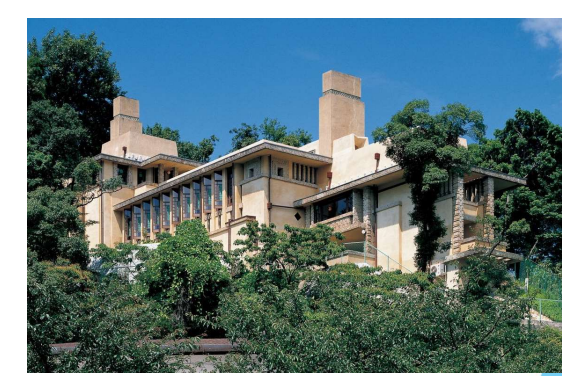
芦屋市立美術博物館（HPより）



尼崎市立歴史博物館（尼崎市HPより）



西宮市大谷記念美術館（HPより）



ヨドコウ迎賓館（HPより）

2. 阪神南地域 ツーリズムの課題

- ・ 潜在的な魅力を有する観光資源が存在しているものの、十分に認知されていない。
- ・ 大阪に隣接し、交通利便性に優れた立地条件を有しているにもかかわらず、観光分野において十分活用されていない。

【あまがさき観光地域づくり戦略（素案） R7.9】

- ・ まちづくりの主要課題抜粋
より多くの人々が西宮を愛し、訪れたいくなるよう、恵まれた自然環境、歴史と文化財、「大学のまち」や「スイーツのまち」等の都市ブランド、市内企業、地場産品など、様々なまちの魅力ある資源が発掘され、生かされることが望めます。

【第5次西宮市総合計画(2019 - 2028)】

- ・ 時代の変化とともに、まちの魅力を熟知する人が減り、資源が十分に生かされないことも。それらを活用するとともに、発信することも忘れずに。この過程を通じ、価値創造の好循環を生み出します。

【第5次芦屋市総合計画 後期基本計画(2026 - 2030) 抜粋】

住んでいる地域に自慢したいスポットがある人の割合

阪神南地域 : 42.9% (R5~R7平均)

兵庫県上位地域（中播磨・但馬） : 50.6% (R5~R7平均)

【「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査】

- ▶ **課題** 地域内外に阪神南地域の魅力が十分に伝わっていない
地域資源の発信力やブランドイメージが弱いと想定される

2. 阪神南地域 ツーリズムの課題

●観光消費単価が低い

阪神南地域の観光消費単価は全県平均を下回る

- ▶ **課題** 買物・娯楽・宿泊などの消費機会が少なく、
観光資源が「通過型（見るだけ）」に近いことが想定される

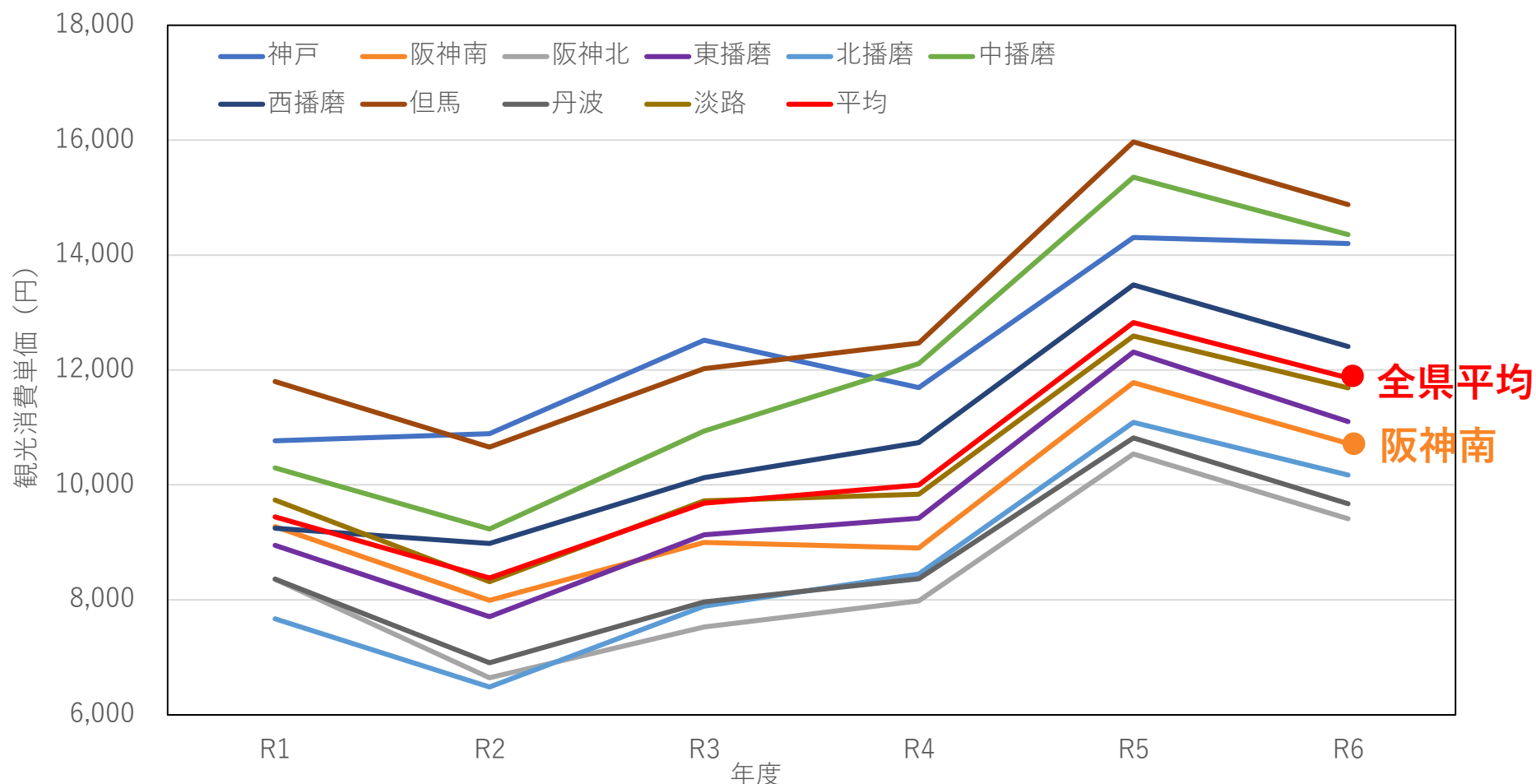


図1 観光消費単価推移

2. 阪神南地域 ツーリズムの課題

8

●観光客数は全県平均を上回るものの伸びが弱い

観光入込客数の傾向は、神戸地域とその他地域とで二極化

増加率※（R4～R6の3箇年平均）：神戸地域+10.3%、阪神南地域+4.7%

※コロナ禍から回復局面に入ったR4年度以降を対象

▶ 課題 周辺大都市（神戸・大阪）に比べて主目的地になりにくく、イベント依存型（甲子園球場 西宮えびす等）で安定的な集客力が弱いことが想定される

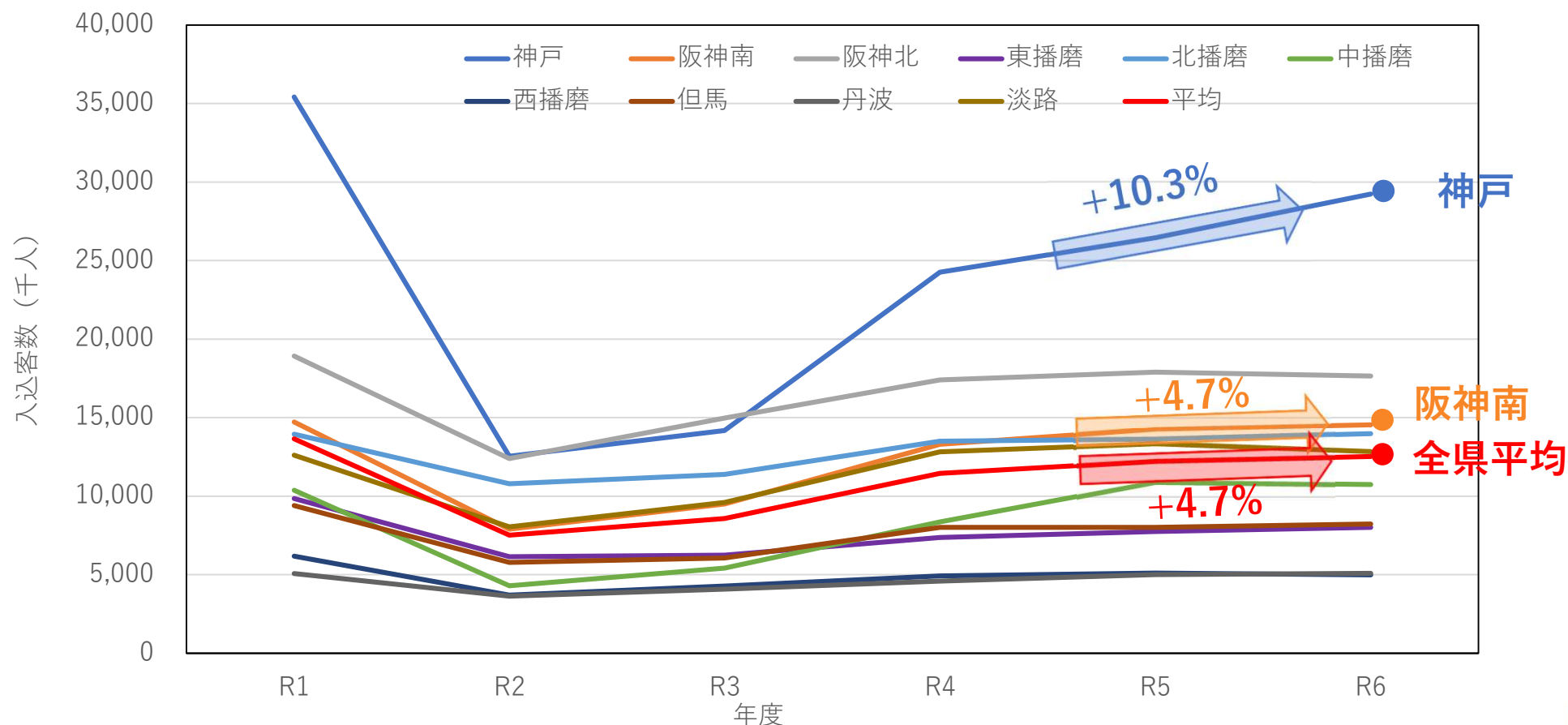


図2 入込客数推移

出展：兵庫県観光客動態調査報告書

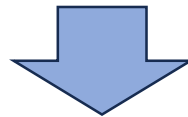
3. 事業の取組方針

3. 事業の取組方針

- 環境の負荷低減や地域住民の影響に配慮し、サステナブルツーリズムの理念に基づいて取組む

ツーリズムを取り巻く社会背景

- SDGsへの関心の高まりを背景に、地域資源を大量に消費する従来型のツーリズムから、自然資源の持続可能な活用や地域内での経済循環を重視する観光へと転換が進んでいる。
- 阪神南地域は良好な住宅地の環境を保っており、ツーリズムとの調和が求められる

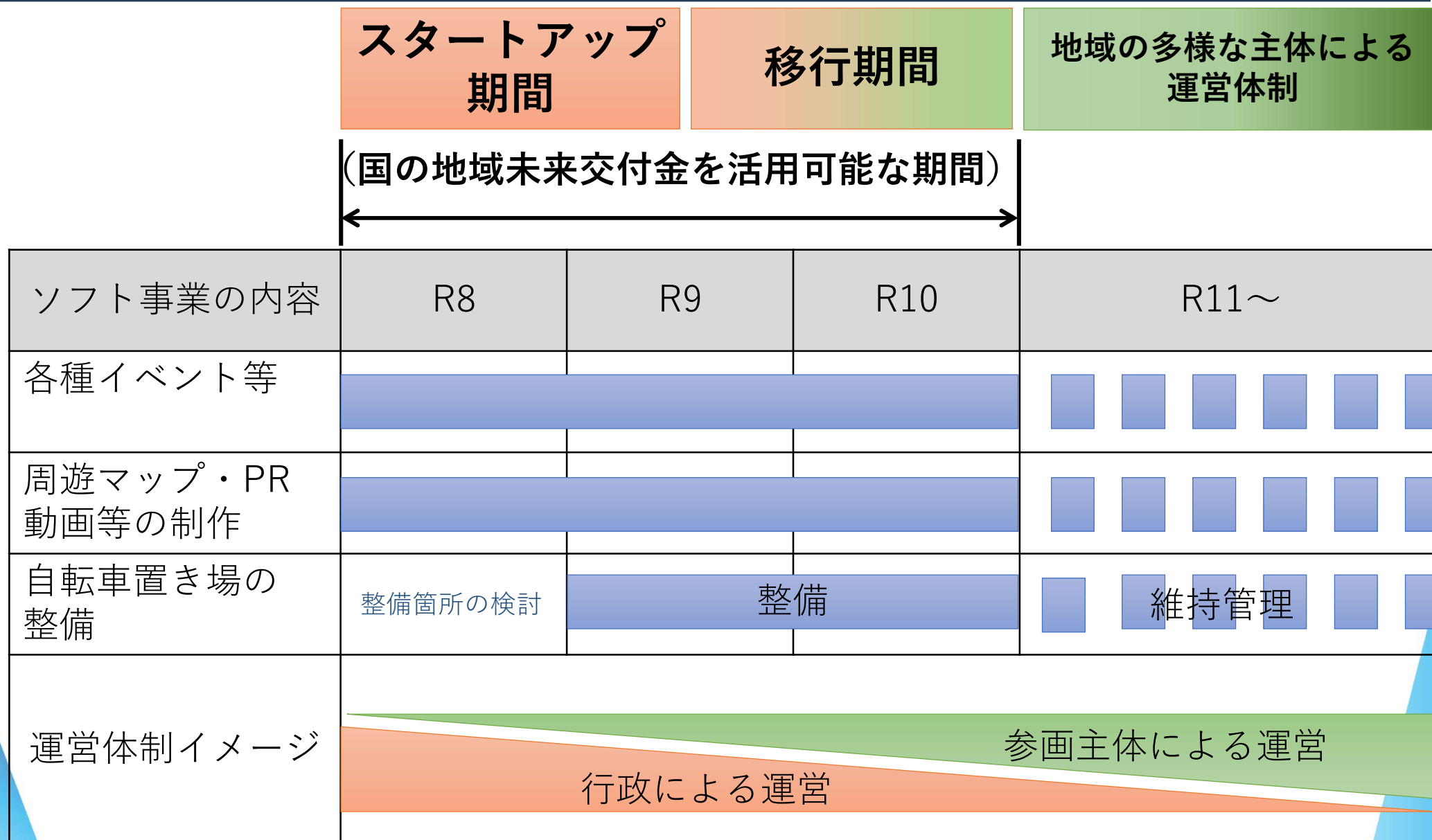


公共交通機関や自転車など環境負荷の小さい手段での移動を基本とし、既存の地域資源をめぐり体験してもらう**サステナブルツーリズム**※を推進

※地域の自然環境や文化、伝統などを守りながら、地域資源を持続的に保つことができるような旅行や観光業の取組の総称であり、特に「**環境**」「**文化**」「**経済**」の3つの保護と発展が軸となった観光形態。

3. 事業の取組方針

- 3年間、交付金を活用して地域の多様な主体と連携して事業を実施しながら、将来的に持続可能な運営体制の構築を目指す



4.重点業績評価指標（KPI）

4.重点業績評価指標（KPI）

- ・本プロジェクトによる成果を定量的に評価するため、5項目の**KPI**を設定
計画期間：3年間 2026～2028年度（令和8～10年度）
- ・各年度ごとにKPIを確認し評価、分析・改善に向けた検討を行う。

① 阪神南地域 ツーリズムの課題1（観光消費単価が低い）

KPI：観光消費単価（全県平均、阪神南地域）

設定根拠：本事業によって、地域資源の価値を高める効果が期待でき、その効果を定量的に評価できる指標であるため、本項目をKPIとして設定した。

② 阪神南地域 ツーリズムの課題2（観光客数の伸びが弱い）

KPI：観光入込客数（全県平均、阪神南地域）

設定根拠：本事業によって、地域の観光施設への来客数増加が期待でき、その効果を定量的に評価できる指標であるため、本項目をKPIとして設定した。

③ 阪神南地域 ツーリズムの課題3（地域資源の認知度向上）

KPI：住んでいる地域で自慢したい地域の宝がある割合

設定根拠：本事業によって、地域の魅力を高める効果が期待でき、その効果を定量的に評価できる指標であるため、本項目をKPIとして設定した。

④ 年間利用者数5万人以下の認知度が低い観光施設の利用者数向上

KPI：年間利用者数5万人以下の認知度が低い観光施設の利用者数

設定根拠：本事業によって、地域の認知度の低い観光施設へも来客数増加が期待でき、その効果を定量的に評価できる指標であるため、本項目をKPIとして設定した。

⑤ 観光による地域経済の活性化

KPI：阪神南地域の観光消費額

設定根拠：本事業によって、①～④を達成することにより、結果的に地域経済の活性化が期待でき、その効果を定量的に評価できる指標であるため、本項目をKPIとして設定した。

① 観光消費単価

目標：観光消費単価を全県平均並みへ向上させる

計測方法：兵庫県観光客動態調査

目標値：10,469円（R4-6※阪神南）⇒ R8-10平均で全県平均と同水準

※コロナ禍から
回復局面に入った
R4年度以降を対象

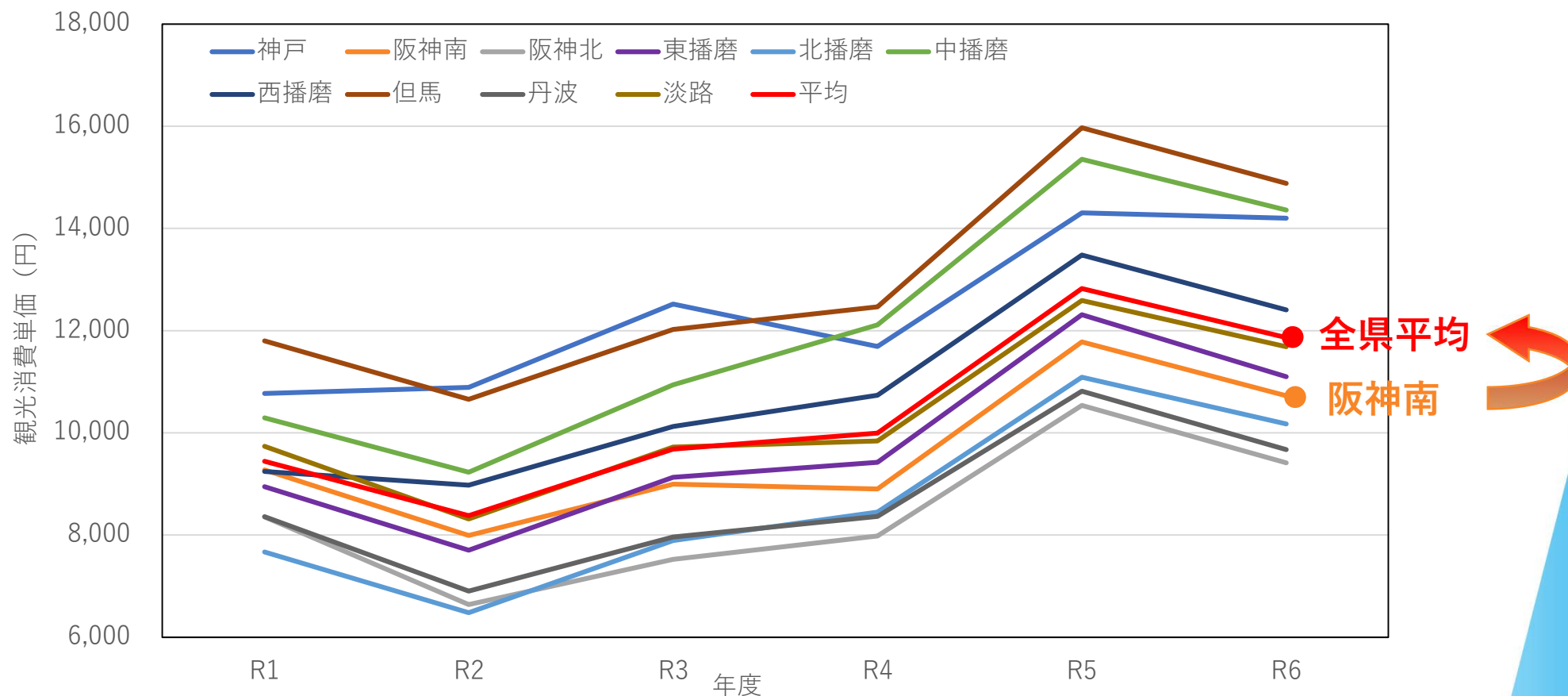


図1 観光消費単価推移

出展：兵庫県観光客動態調査報告書

② 観光客数の伸び率

目標：観光客数の伸び率を全県平均を上回るよう向上させる
計測方法：兵庫県観光客動態調査
目標値：+4.7%(R4-6※平均阪神南、全県平均) ⇒ R8-10平均で全県平均を上回る

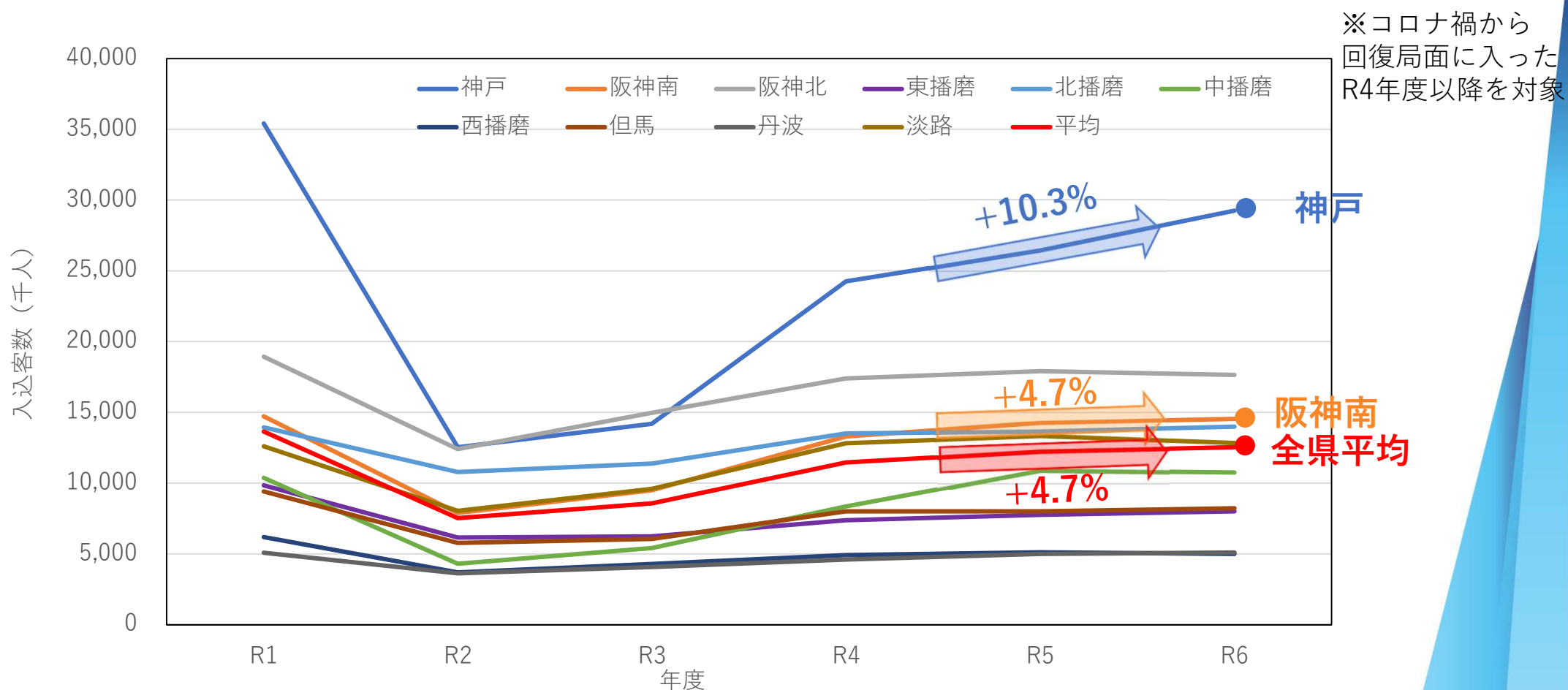


図2 入込客数推移

出展：兵庫県観光客動態調査報告書

③住んでいる地域で自慢したい地域の宝がある割合

目標：地域資源の磨き上げや情報発信を通じ、住民が地域の魅力を再認識し、地域への愛着や誇りを高める

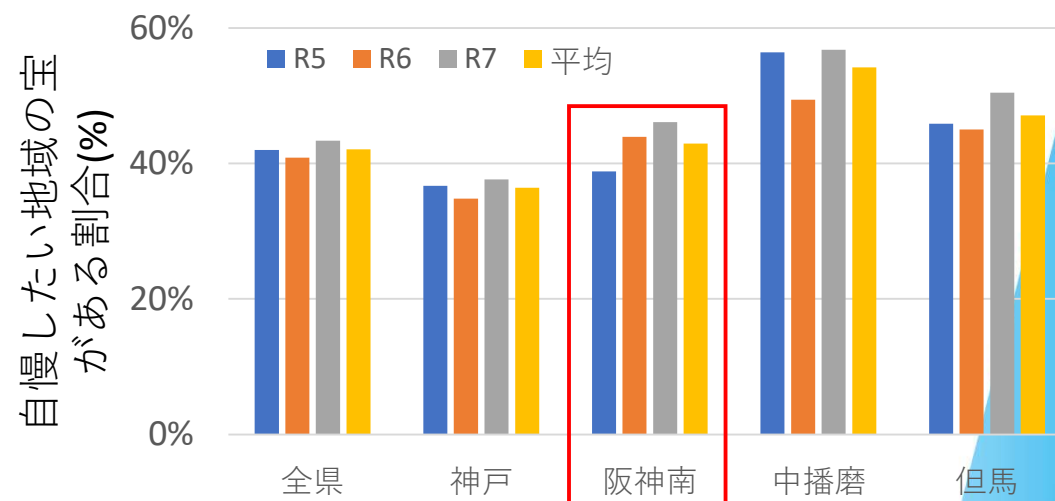
計測方法：県民意識調査「兵庫のゆたかさ指標」の設問（お住まいの地域には、自慢したい地域の宝(風景や産物、文化など)がありますか。）の回答の内、5段階評価で「そう思う」、「まあそう思う」など肯定的な回答をした阪神南地域の人の割合

目標値：43%（R5～R7平均値）→50%（R8～R10平均値）（+7%）

設定根拠：初期値を43%（R5～R7年度の阪神南地域平均値）として、令和10年度に50%（R5～R7年度の兵庫県上位地域（中播磨・但馬）平均値）を目指す。

※ R7年度から広報、ソフト事業に取り組むため、効果発現はR8年度からを見込む。

年度	全県	神戸	阪神南	中播磨	但馬
R5	42.0%	36.7%	38.8%	56.4%	45.8%
R6	40.9%	34.8%	43.9%	49.4%	45.0%
R7	43.3%	37.6%	46.1%	56.7%	50.4%
平均	42.1%	36.4%	42.9%	54.2%	47.1%



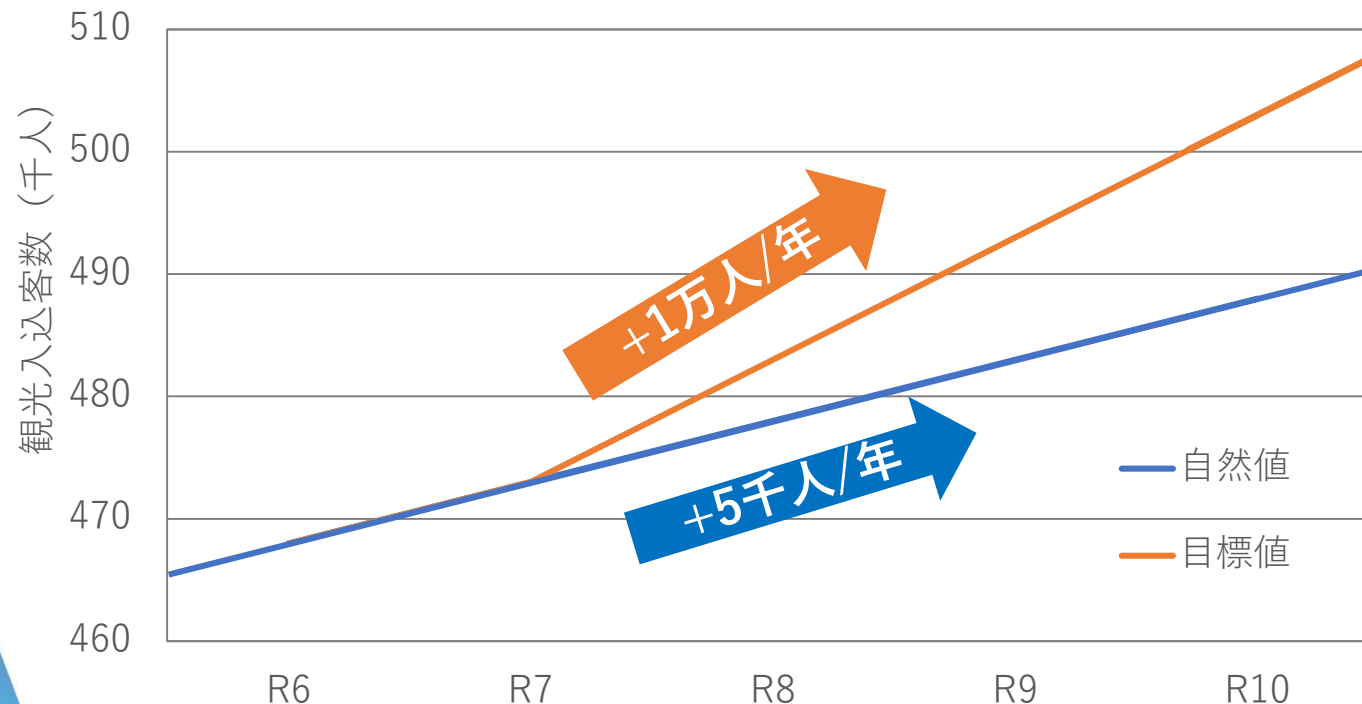
④年間利用者数5万人以下の観光施設の利用者数

目標：地域資源を活用したイベントの開催やツーリズムの推進による、地域内の周遊促進と交流人口の拡大

計測方法：阪神南地域の観光施設(R5・6年の利用者が5万人以下の16施設)の利用者数

目標値：47.3万人(R7年度)⇒50.3万人(R10年度)

目標根拠：R5～R6年度の利用者増が約5千人/年であるため、本プロジェクトの効果として倍となる1万人/年増を目標とする。



※R7年度の観光入込客数の実績値は53.8万人であったが、大阪万博の効果により急増したと推定されるため、異常値として扱う

観光施設例

○尼崎市（8施設）

- ・寺町界限
- ・近松の里
- ・田能資料館
- ・世界の貯金箱博物館
- ・尼信会館
- ・魚つり公園
- ・歴史博物館
- ・あまがさき観光案内所

○西宮市（5施設）

- ・西宮市大谷記念美術館
- ・西宮市貝類館
- ・市立郷土資料館
- ・市立甲子園浜
自然環境センター
- ・酒ミュージアム
(白鹿記念酒造博物館)

○芦屋市（3施設）

- ・ヨドコウ迎賓館
- ・谷崎潤一郎記念館
- ・市立美術博物館

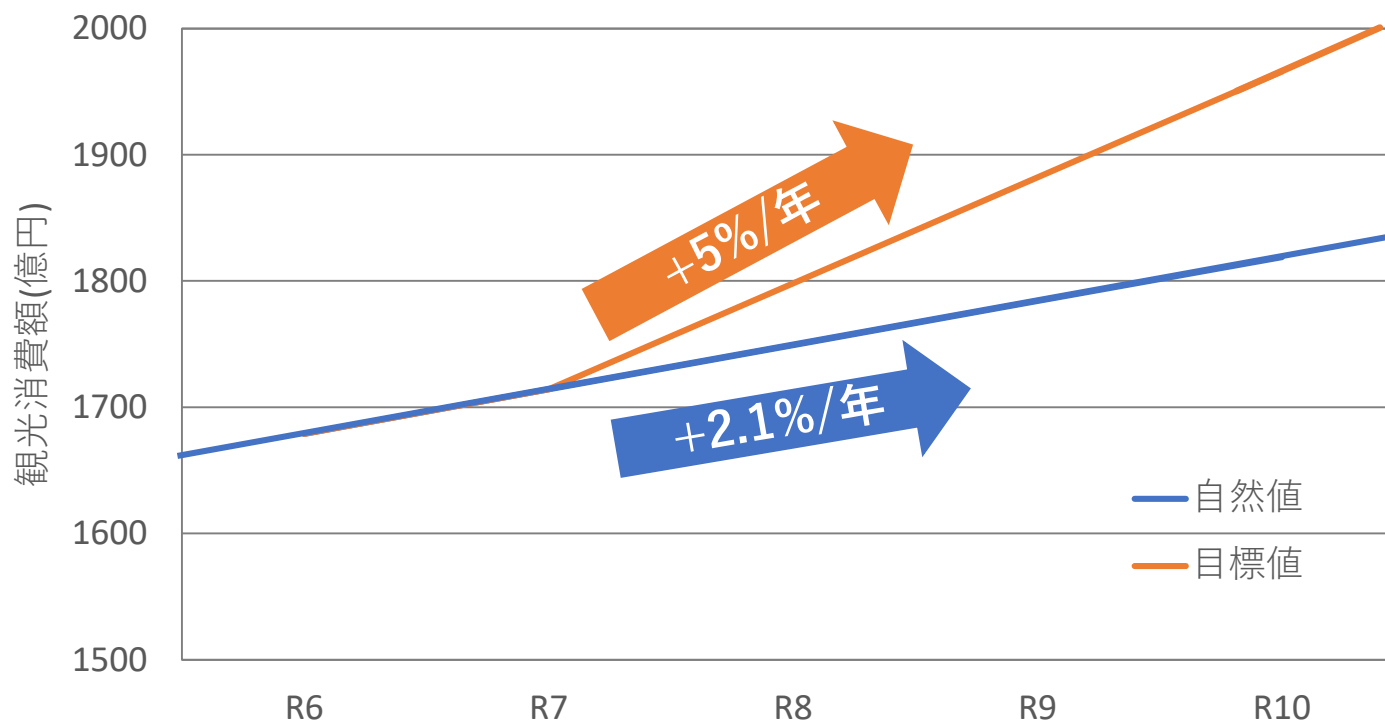
⑤阪神南地域の観光消費額

目標：来訪者の増加や消費機会の拡大による、地域経済の活性化

計測方法：「兵庫県観光客動態調査」の阪神南地域の観光消費額

目標値：1,714億円(R7年度)⇒1,966億円(R10年度)

目標根拠：初期値を1,679億円(令和5年度の観光消費額)として、H27～R6年度の国内旅行消費額の伸び率が年2.1%であるため、本事業の効果として、KPI 4 と同様に倍増の伸びを目指し、5.0%(+2.9%)の増を目標とする。



5. 事業概要

5. 令和8年度 ソフト事業の概要

●地域資源の周遊促進

- 1 自転車や公共交通での移動を活用したデジタルスタンプラリー
- 2 デジタルスタンプラリーを活用したサイクルロゲイニング
- 3 地元大学と連携した地域資源の魅力をアピールするイベント

●地域資源に「触れる」「体験する」機会の創出

- 1 武庫川でのカヌー体験会
- 2 武庫川干潟等での自然観察会
- 3 武庫川等での清掃イベント
- 4 マリンスポーツ体験会
- 5 阪神南ふれあいスポーツフェスタ

●スポーツを通じた交流

- 1 阪神南ふれあいスポーツフェスタ

●地域内外の人に地域資源の魅力を伝える情報発信

ポータルサイトの運営 周遊マップ・PR動画の制作

●地域資源の周遊促進

1. 自転車や公共交通を活用したデジタルスタンプラリー (案)

- 目的：阪神南地域の多様な地域資源の認知度向上、
地域の物産や飲食店の認知度向上、地域経済の活性化
- 内容：阪神南県民センター内の観光施設・拠点施設、イベント等をチェックポイントとし、環境に負荷の少ない公共交通や自転車を利用したデジタルスタンプを獲得するスタンプラリーを実施。
獲得したスタンプ数に応じて抽選会に参加できるなどのインセンティブを付与。
(賞品は、市、商工会議所、管内企業等に協賛を想定)

【令和8年度開催概要】

開催時期：令和8年11月（1か月間）

テーマ：阪神南地域のインフラツーリズム

目的：インフラ施設の重要性に対する認知度向上

チェックポイント素案：

- ・土木関連施設（地すべり資料館、尼ロック、新川水門、公園、東灘芦屋大橋など）
- ・土木建設現場（津門川地下貯留管など）
- ・土木遺産（武庫大橋など）

※各現場、施設管理者と要調整

●地域資源の周遊促進

22

2.デジタルスタンプラリーを活用したサイクルロゲイニング (案)

目的：参加者が任意の日程で参加できる仕組みを導入し参加促進を図る。
自転車活用により環境付加の少ない移動手段の普及。

開催時期：11月

開催期間：1か月

内容：デジタルスタンプラリーのシステムを活用し、参加者が任意に選択した1日に自転車で周遊し、獲得したスタンプ数を競うものとする。なお、特定日の大会形式ではなく、開催期間内に自由に参加できるサイクルロゲイニング方式とすることで、危険性の回避を図る。

* デジタルスタンプラリー・サイクルロゲイニングの広報

阪神南ふれあいスポーツフェスタにてPRイベントを実施

開催日時：10月11日

内容：自転車の交通安全普及啓発イベント開催
自転車シミュレーター・交通安全クイズ&ガチャ 白バイ展示など
(尼崎南警察署)
自転車に造詣のある著名人を招聘予定。

●地域資源の周遊促進

3. 地域資源の魅力をアピールするイベント (案)

～大手前大学 学生提案企画～

- 目的：地域の大学生の地域理解を深める
御前浜の魅力を知ってもらう
- 開催日時：令和8年11月22日（日）
- 実施方法：デジタルスタンプラリー連携を想定
- 場所：御前浜公園
- 参加人数：130名程度
- 内容：西宮の歴史や自然を学ぶ
参加者とランタンを作り、飛ばす
- 連携先：大手前大学 海老教授研究室

内容等調整中

広報イメージ

2027
2/14 日

集合時間 16:00～ / ランタン打ち上げ 18:00スタート

参加費：ランタン一機あたり 300円

御前浜公園

※雨天・強風の場合は中止になる可能性があります。

主催・お問い合わせ：大手前大学

西宮市ランタンナイト

御前浜からの風景



西宮砲台



●地域資源に「触れる」「体験する」機会の創出

24

1. 武庫川でのカヌー体験会（案）

目的：武庫川においてカヌー体験会を実施し地域住民をはじめ幅広い参加者に対して、武庫川の自然環境およびマリンスポーツの魅力を体験を通じて理解してもらうこと

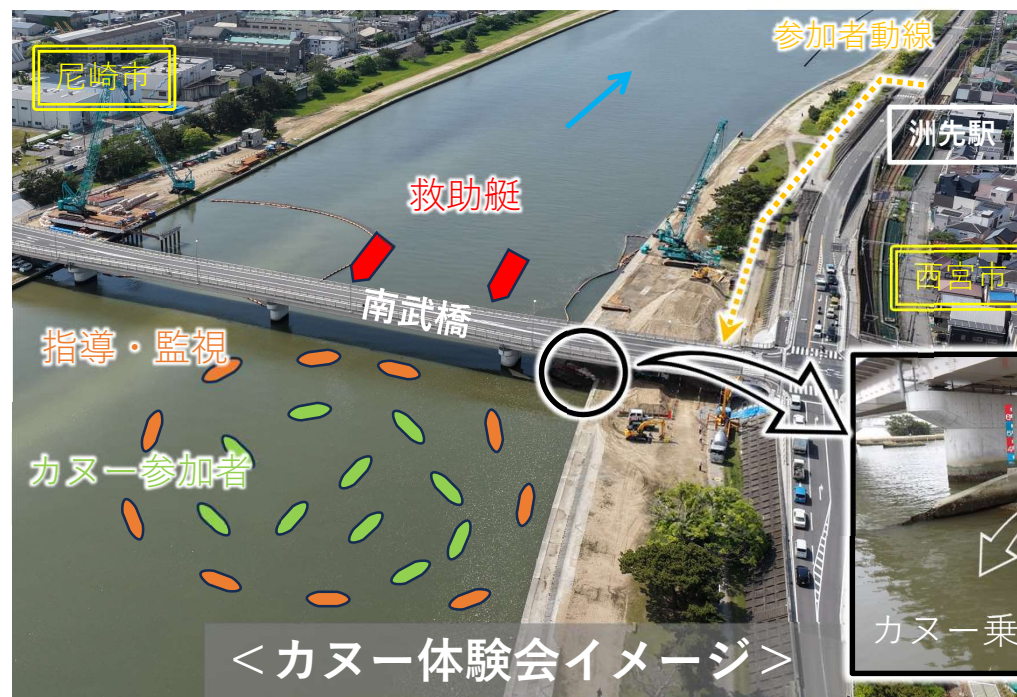
開催日時：令和8年9月13日（日）8：30～16：45（全5回）

場所：武庫川 南武橋上流付近（西宮市側）

参加人数：10人×5回 計50人（予定）

内容：一人乗りカヌー

連携先：遠藤小百合氏(オリンピック)、武庫川女子大学カヌー部、兵庫県立海洋体育館



●地域資源に「触れる」「体験する」機会の創出

25

2. 武庫川干潟等での自然観察会（案）

目 的：武庫川における干潟等をフィールドとして自然観察会を実施し、
阪神南地域の貴重な自然資源である武庫川を通じて自然環境への
関心を高めること

開催日時：令和8年9月26日（土）9：45～12：00

場 所：武庫川 旧国道付近（西宮市側）

参加人数：40人（予定）

内 容：生物採取・観察

連携先：武庫川女子大学環境共生学部



●地域資源に「触れる」「体験する」機会の創出

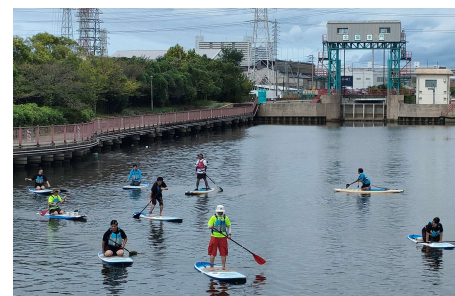
27

4. マリンスポーツ体験会 (案)

目的：マリンスポーツに適した環境や活動拠点がある阪神臨海部の特性を活かし、官民協働で地域が一体となり、地域の知名度向上・観光資源化を図る

内容：

- ・ 尼崎市：尼崎運河 (SUP) 令和8年9月13日 (日)、9月20日 (日)、10月11日 (日)、11月8日 (日)
- ・ 西宮市：甲子園浜沖 (ウィンドサーフィン、SUP等) 令和8年7月19日 (日)、9月23日 (祝)
- ・ 芦屋市：兵庫県立海洋体育館前 (カヌー、ヨット、ドラゴンボート等) 令和8年4月25日 (土)、26日 (日) ほか



R7マリンスポーツ体験会 (尼崎運河)



R7マリンスポーツ体験会 (甲子園浜沖)



R8マリンスポーツ体験会 (県立海洋体育館)

●スポーツを通じた交流

1. 阪神南ふれあいスポーツフェスタ（案）

目的：幅広い世代が交流できるスポーツイベントを開催し、健康づくりや世代間の交流、賑わいの創出を促進する

開催日時：令和8年10月11日（日）9：00～18：00

場所：尼崎スポーツの森

参加人数：10,000人（予定）

内容：ワールドマスターズゲームズ2027関西の水球会場としてプレイベント、オリンピックによるスポーツ教室、フットサル大会、子どもラグビー大会 等



ワールドマスターズゲームズ2027関西 水球会場



子どもラグビー大会（イメージ）



フットサル大会（イメージ）

●自転車置き場の整備

- 目的：周遊ツーリズムの基盤として必要な環境整備を実施する
- 期間：令和9年（2027年）～令和10年（2028年）2か年
- 内容：自転車置き場（サイクルラック）の整備
※整備箇所は各施設等と調整の上協議会で報告予定

サイクルラック設置例



【報告】 阪神南地域のサステナブルツーリズムに 関連するインフラ整備

地域資源の磨き上げ

●武庫川の河川改修

- ・潮止堰撤去による干潟拡張
- ・南武橋（旧橋）撤去によるカヌー等の環境整備



潮止堰撤去



南武橋撤去

自転車走行環境の向上

●自転車道の設置

- ・県道大阪伊丹線（口田中）
- ・県道尼崎停車場線（長洲中通）

●自転車・歩行者道の設置

- ・県道尼崎池田線（南塚口町）

●無電柱化など

- ・県道甲子園六湛寺線（甲子園九番町～今津出在字町）
- ・県道芦屋停車場線（上宮川町）
- ・県道大沢西宮線（甕岩町）



自転車道の例

6. 連絡協議会（幹事会） にお願いしたいこと

6.連絡協議会（幹事会）にお願いしたいこと

「阪神南地域の活性化、地域価値の向上、地域への愛着醸成」の実現に向けて、参画主体の皆様との新たな連携を図るとともに、事業に関するアイデア提案、連携実施など、積極的な取組へのご協力・参画をお願いします。

（１）ソフト事業全般における提案

- ・ 事業効果を高めるためのツーリズムの実施方策の提案について
- ・ 相乗効果が期待できるイベントや取組など

（２）デジタルスタンプラリーにおける提案

- ・ 阪神地域の特色を活かした新たな切口のテーマ設定
- ・ 周遊スポットの提案

（３）効果的な広報・情報発信の提案

- ・ 既存広報誌等による情報発信の検討 ホームページ等の連携

（４）地域の多様な主体による運営体制の検討

- ・ スタートアップ期間以降の持続的な実施体制 の検討

（５）イベント実施時に関すること

- ・ スタッフ協力
- ・ 共催物品の協力依頼・提供
- ・ イベント広報

7. 今後のスケジュール

7. 今後のスケジュール

